

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス オレンジ		2026年 1月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	3	2	・オレンジの部屋では狭すぎる為、別の部屋を借りて活動している。 ・プログラムの個別化で、提供場所を分散させて、支援場所の確保に繋げている。	
	2		5	活動を2つに分けて、見守りやすい体制にする等工夫している。	マンツーマンを必要とする児童に対して支援者の人数が足りない日がある。
	3	5		子供の成長に合わせて日々、構造化を行っている。	
	4	5			今以上に、清潔保持に努めるよう、消毒等必要。
	5	4	1	宿題等課題に取り組めるスペース確保、個別ブースを数か所設置出来ている。	
業務改善	6	5		常勤でカンファを行ったうえで業務にのぞまれている。	
	7	5			
	8	5		・スタッフ間で情報共有に努めている。 ・日々、支援前にミーティングを行い、意見交換を行っている。	
	9	4			
	10	5		法人内での研修がないため、外部の研修に向いている。	
適切な支援の提	11	5			
	12	5		日々の情報共有をスタッフ間で行い、作成者に反映させている。	
	13	5			
	14	5		ミーティングを実施することで、スタッフ間で共通した支援を行うことが出来ている。	
	15	5		teacchプログラムに基づいたアセスメントツールを使用している。	
	16	5			
	17	5			
	18	4	1	毎日利用者の状態に合わせて、プログラムを組み替えている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動が主であったため、個別活動の機会を増やしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		再構造化の際は、スタッフ間でシミュレーションを行い、支援の統一を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・支援終了後すぐにはできないが、翌日にミーティングを実施し振り返りを行っている。 ・パートスタッフには、個別にて情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		利用者の特性に合わせて、スケジュールに選択箇所を盛り込んでいる。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		送迎時に教員等、一部出来ているが、まだまだ教育機関との連携が不十分と感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		家族からの連絡を含めて共有出来ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		該当者がいないため、これからの卒業者がいる際には行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・地域の公園でたまま出会う程度の活動。 ・公園での活動の際、地域の方との交流も多々あり。	地域の公園に行くことはあるが、なかなか地域の子供の与交流する機会が難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	管理者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		個々では研修を受けたりしてきているが、家族が参加できる研修会への情報提供などは出来ずにいる為、検討していく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	保護者会（父母の会）はなく、今後取り組んでいきたい。	・今後、保護者の方との交流の場を検討していきたい。 ・茶話会等の機会を設けたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		年に数回お便りを発行して、活動内容の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			地域との交流はほとんどはかれていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部の研修を受講し、現場へ活かしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		業所内で日々の様子を共有しながら身体拘束になっていないかなど振り返りも行っている。		